

No.26 鎌倉幕府	年 組
	氏名

/11 問
-------

次の ( ) に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- 1 <sup>みなもと</sup>源頼朝は、<sup>へいし</sup>平氏をほろぼしたのち、  
 (① ) に任じられ、右の  
 (② ) に幕府を置いた。



- 2 鎌倉幕府において、地方の国ごとに置かれた役職を (③ ) という。

- 3 鎌倉幕府において、地方の<sup>しやうえん</sup>荘園や<sup>こうりやう</sup>公領ごとに置かれた役職を (④ ) という。

- 4 将軍が、<sup>ぶし</sup>武士に対して、以前から所有していた領地を保護したり、新しい領地をあたえたりすることを (⑤ ) という。

- 5 武士が、<sup>きやうと</sup>京都の天皇の住まいや鎌倉の幕府を警護し、戦いがおこったときには、生命をかけて軍役を果たすことを (⑥ ) という。

- 6 将軍と「(⑤) と (⑥) の関係」で結ばれ、将軍に忠誠をちかつた武士を (⑦ ) と呼ぶ。

- 7 鎌倉幕府の実権をにぎった<sup>ほうじやう</sup>北条氏が<sup>どくせん</sup>独占した地位を (⑧ ) という。

- 8 1221年、<sup>ちやうてい</sup>朝廷の勢力の回復をはかって<sup>ごとう</sup>後鳥羽<sup>じやうこう</sup>上皇が<sup>きよへい</sup>挙兵したが、幕府に敗れた。このできごとを (⑨ ) という。

- 9 (⑨) ののち、<sup>かんし</sup>朝廷を監視したり、西日本の武士を統率したりするために、京都に (⑩ ) が置かれた。

- 10 執権の<sup>ほうじやう</sup>北条<sup>やすとき</sup>泰時が執権政治を進めるために、武士の社会で行われていた慣習に基づいて定めた右の法を (⑪ ) という。

— 武士が20年の間、実際に土地を支配しているならば、その権利を認める。(部分)

鎌倉幕府の仕組みや、将軍と御家人がどのような関係で結びついていたのかをとらえよう。



【解答】

- ① <sup>せいゐ</sup>征夷<sup>たいしやうぐん</sup>大将軍
- ② <sup>かまくら</sup>鎌倉
- ③ <sup>しゆご</sup>守護
- ④ <sup>じどう</sup>地頭
- ⑤ <sup>ごおん</sup>御恩
- ⑥ <sup>ほうこう</sup>奉公
- ⑦ <sup>ごけにん</sup>御家人
- ⑧ <sup>しつけん</sup>執権
- ⑨ <sup>じやうきゆうらん</sup>承久の乱
- ⑩ <sup>ろくはらたんだい</sup>六波羅探題
- ⑪ <sup>ごせいはいしきもくじやう</sup>御成敗式目(貞永式目)